

株式会社ニッセーデリカ

2023 年度 環境経営レポート

(対象期間: 2023 年4月1日～ 2024年3月31日)



エコアクション21[®]
認証番号0013383



NISSEY
DELICA CORP.

作成日： 2024年8月30日

目 次

項 目	ページ
環境経営方針	3
組織の概要、事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	8
代表者による全体の評価と見直し・指示	11



環境経営方針

<環境経営理念>

「わたしたちは 新しい価値の創造を通して 幸せを実現し 社会の発展に貢献します」を企業理念とし、新しい麺文化の創造を目的に安全・安心でおいしい調理麺の生産を通じて、笑顔あふれる暮らしづくりに努めてまいりました。

これからもわたしたちの事業活動による社会への影響を意識し、世界的課題である地球環境を守り、持続可能な暮らしづくりに自主的・積極的に取り組みます。

安全・安心な製品をお客様に届けるため、働きやすい職場づくりを進める中で、創意工夫による食品安全管理の徹底と効率的な生産を目指して、全社一丸となって継続的な改善活動に取り組みます。

<環境保全への行動指針>

- 1 . 安全を第一に考え、ルールを守り、効率的に商品の開発と製造を行います。
- 2 . 環境関連法・規制・条例・協定を遵守し、自主管理基準を定め環境保全活動に努めます。
- 3 . 廃棄・再生産対策を実行し、フードロスの発生抑制に努めます。
- 4 . 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- 5 . 従業員を大切にし、環境に優しい働きやすい職場づくりを推進します。
- 6 . 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
- 7 . 洗浄剤や殺菌剤など適正管理に努めます。
- 8 . 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。

制定日：2020年1月1日

改定日：2023年5月16日

代表取締役社長 **吉田 輝彦**

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社ニッセーデリカ
代表取締役社長 吉田 輝彦

(2) 所在地

本 社 東京都千代田区外神田4-5-4 亀松ビル10F
 神奈川工場 神奈川県相模原市緑区根小屋814-9
 湘南工場 神奈川県足柄上郡中井町境818
 千葉工場 千葉県富里市日吉倉1422-1
 福島工場 福島県福島市瀬上町東上新田4-6
 名古屋工場 愛知県豊田市大清水町大清水111-1

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 代表取締役社長 吉田 輝彦 TEL : 03-3253-6411
 事務局 設備管理部 大西 隆仁 TEL : 03-3253-6411

(4) 事業内容

麺類の製造

(5) 事業の規模

	従業員	延べ床面積
本社	52名	294.6㎡
神奈川工場	710名	8513㎡
湘南工場	388名	7897.87㎡
千葉工場	947名	10539.26㎡
福島工場	515名	9389.52㎡
名古屋工場	504名	7508㎡
合計	3116名	44142.25㎡

※2023/3/31時点

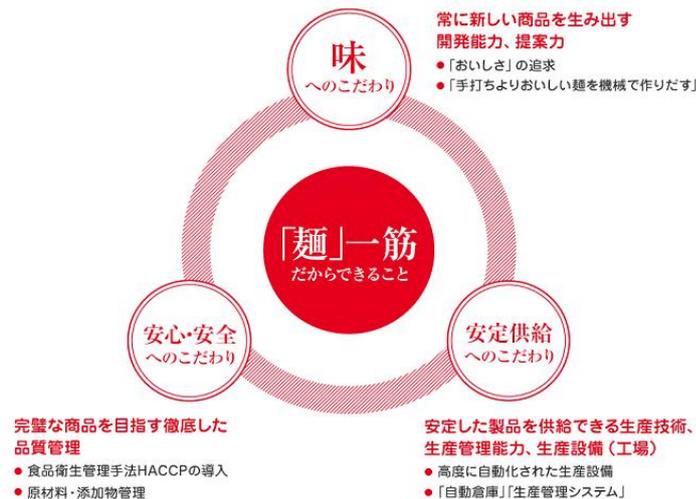
(6) 事業年度 4月1日～3月31日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：株式会社ニッセーデリカ
 対象事業所：本 社
 神奈川工場
 湘南工場
 千葉工場
 福島工場
 名古屋工場
 活動：麺類の製造

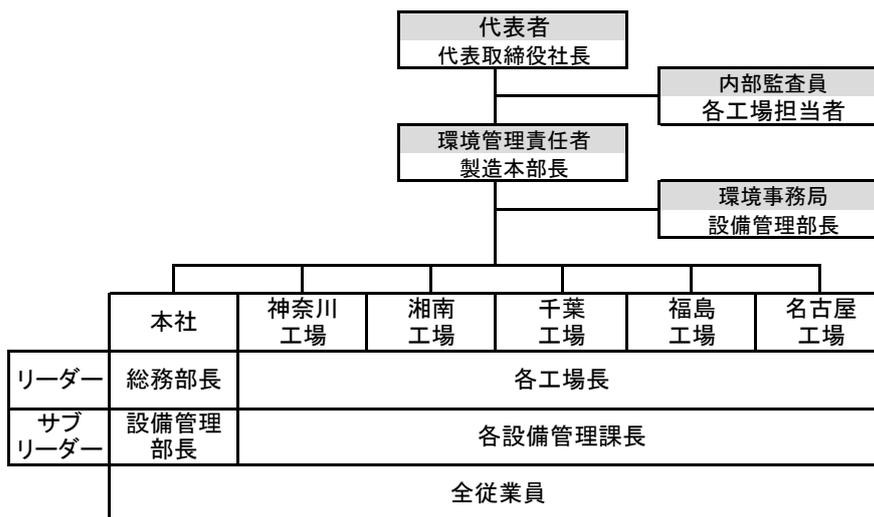


□事業や製品(商品)の紹介



<取り扱い商品>





	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 環境管理責任者を任命 効果的で必要十分な実施体制を構築する 実施体制においては、各自の役割、責任及び権限を定め、全従業員に周知する 環境経営方針の策定・見直し 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し、指示 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を承認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付)
部門長 工場長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
内部監査員	<ul style="list-style-type: none"> 環境に関する内部監査の計画 環境に関する内部監査の実施・報告
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	t-CO2	34,360	32,880	33,089
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	t	618	275	213
産業廃棄物排出量 (廃プラ、汚泥)	t	3,124	2,734	3,059
食品廃棄物				
発生量	t	3,941	3,974	4,107
発生抑制量		0	0	0
再生利用量		3,656	3,889	4,046
熱回収量		0	0	0
減少量		0	6	0
再生利用以外の量		0	0	0
廃棄物処理量		285	80	61
食品再資源化実施率		%	92.8%	98.0%
水使用量	m ³	1,808,492	1,752,529	1,797,864

※二酸化炭素排出係数 (kg-CO2/kWh) 電気事業社別排出係数使用

拠点	2023年度	電気事業社
神奈川工場	0.457	東京電力
湘南工場		
千葉工場		
福島工場	0.477	東北電力
名古屋工場	0.433	中部電力
本社	0.412	オリックス

□環境経営目標及びその実績

項目	年度	基準値 (基準年2019年)	2023年		評価	2024年 (目標)	2025年 (目標)
			(目標)	(実績)			
電力による二酸化炭素削減	t-CO2	19,501	16,248	16,568	×	15,990	15,795
	基準年度比		83%	85.0%		82%	81%
ガスによる二酸化炭素削減	t-CO2	17,384	14,683	16,145	×	14,428	14,254
	基準年度比		84%	92.9%		83%	82%
自動車燃料による二酸化炭素削減	t-CO2	304	434	376	○	365	365
	基準年度比		143%	123.8%		120%	120%
上記二酸化炭素排出量合計	t-CO2	37,188	31,364	33,089	×	30,784	30,415
	基準年度比		84%	89.0%			
一般廃棄物の削減	t	780	222	213	○	195	156
	基準年度比		28%	27.3%		25%	20%
廃プラの削減	t	1,151	1,086	1,258	×	1,140	1,128
	基準年度比		94%	109.3%		99%	98%
食品廃棄物の削減	t	3,857	3,902	4,107	×	3,819	3,780
	基準年度比		101%	106.5%		99%	98%
食品廃棄物の再生利用率向上	自主目標	96%	98%	98.5%	○	98%	98%
	食り法目標		80%		○		
水の削減	m ³	1,847,508	1,763,464	1,797,864	×	1,736,657	1,718,182
	基準年度比		95%	97.3%		94%	93%
化学物質の適正管理	<ul style="list-style-type: none"> ・P R T R物質の把握 ・出庫管理による使用量把握徹底 						
環境に配慮した生産活動	<ul style="list-style-type: none"> ・本社主体での全工場歩留まり管理 ・廃棄再生産管理・削減活動による食品・エネルギーロス削減 						

□環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

項目	拠点	目標	実績	評価	取組評価	次年度取り組み
電力による二酸化炭素削減	神奈川	3,217	3,295	×	・チラー稼働台数時期で変更、空調機フィルター交換実施 ・製造数増加により使用量増加し未達	・LED照明に交換
	湘南	2,503	2,511	×	・製造終了後の使用機器・照明の電源切り、室外機フィン清掃実施 ・室温管理変更により空調機増設もあり未達	・LED照明に交換 ・空調機更新
	千葉	4,744	5,042	×	・フィルター、室外機フィン清掃実施 ・製造数増加により使用量増加し未達	・空調機更新 ・チラー設備更新 ・LED照明に交換
	福島	2,988	3,005	×	・冬季削減活動として、空調機設定見直し、製造時間外の空調機停止実施 ・増設設備の稼働時間が増え使用量増加により未達	・空調デマンドコントローラー導入 ・空調機更新
	名古屋	2,792	2,670	○	・空調機更新、製造終了後の節電対応実施により達成	・空調機更新 ・冷水チラー更新
	本社	44	45	×	・会議室ことでの照明入切実施、空調機ゾーニングによる適正温度管理 ・在宅勤務解除となり会議室稼働率なども増え増加により未達	・空調温度の適正管理
ガスによる二酸化炭素削減	神奈川	3,275	3,185	○	・蒸気配管保温材設置、巡回による漏れ箇所早期修繕実施 ・ライン数管理による茹で機稼働時間削減により達成	・ボイラーごとのガス使用量把握・分析 ・ボイラー更新
	湘南	2,272	2,081	○	・蒸気配管保温材設置、排熱回収装置1台設置により達成	・排熱回収設置横展開
	千葉	5,147	5,367	×	・蒸気配管保温材設置、ボイラー更新(2月)実施 ・製造数増加により使用量増加し未達	・温調時間管理の徹底 ・増設設備での使用量把握・分析
	福島	2,709	2,843	×	・配管、設備の保温材設置、自動昇温機能の使用の実施 ・増設設備の稼働時間が増え使用量増加により未達	・温調時間管理の徹底 ・増設設備での使用量把握・分析
	名古屋	3,383	3,335	○	・製造前温調入り時間の明確化、手動バルブの製造終了後すぐに閉じる教育実施し達成	・温調時間管理の徹底
	本社					

自動車燃料による二酸化炭素削減	神奈川	188	159	○	・人数制限解除による送迎効率アップ実施により達成	・社用車HV車に入れ替え ・効率的な送迎回数への検討
	湘南	40	45	×	・人数制限解除による送迎効率アップ実施するも回数増加により未達	・社用車HV車に入れ替え ・効率的な送迎回数への検討
	千葉	63	57	○	・人数制限解除による送迎効率アップ	・社用車HV車に入れ替え ・効率的な送迎回数への検討
	福島	100	78	○	・人数制限解除による送迎効率アップ	・社用車HV車に入れ替え ・効率的な送迎回数への検討
	名古屋	13	17	×	・人数制限解除による送迎効率アップ実施するも回数増加により未達	・社用車HV車に入れ替え ・効率的な送迎回数への検討
	本社	31	21	○	・社用車HV車に入れ替え ・安全運転指導の実施	・社用車HV車に入れ替え ・安全運転指導の実施
一般廃棄物の削減	神奈川					
	湘南	82	28	○	・2022年度実施した残渣分別見直し継続により達成	分別継続
	千葉					
	福島	191	180	○	・古紙など有価物の分別徹底により達成	分別継続
	名古屋	6	5	○	・古紙など有価物の分別徹底により達成	分別継続
	本社				・排出袋数管理継続	・ゴミ分別教育
廃プラの削減	神奈川	248	253	×	・紙ごみの分別実施 ・製造数増加により増加し未達	・包装不良削減活動 ・残渣分別強化
	湘南	133	145	×	・分別徹底継続するも未達	・包装不良削減活動 ・残渣分別強化
	千葉	345	363	×	・包装機メーカーメンテナンス実施 ・製造数増加により使用量増加し未達	・分別方法教育、状況定期確認
	福島	141	134	○	・紙ごみの分別教育実施、分別徹底による達成	・包装不良削減活動 ・残渣分別強化
	名古屋	219	150	○	・分別実施、具材余りが無いよう出し切る作業の徹底など作業員への教育もできており達成	・包装不良削減活動 ・分別強化
	本社				・排出袋数管理継続	・ゴミ分別教育

食品廃棄物の削減	神奈川	905	942	×	・具材廃棄量チェック、歩留まり管理実施 ・製造数増加により増加し未達	・茹で麺廃棄時の水分対策
	湘南	543	510	○	・生野菜用減容機導入により削減し達成	・減容機活用継続
	千葉	1,255	1,497	×	・具材廃棄量チェック、歩留まり管理実施 ・ラインテスト、再生産増加により未達	・メンテナンス強化による再生産削減
	福島	563	549	○	・準備率管理、適正化を行い達成	・減容機導入
	名古屋	636	609	○	・新商品製造時のロス分析による削減、終売時の在庫管理による削減実施により達成	・製造ロス分析の徹底、削減活動
	本社					
水の削減	神奈川	321,695	316,986	○	・機器ごとの流量計設置 ・ライン数管理による茹で機稼働時間削減により達成	・流量計データ分析によるムダ調査 ・設備ごとの給水量ルール化
	湘南	276,474	262,354	○	・機器ごとの流量計設置 ・ライン集約実施により達成	・流量計データ分析によるムダ調査 ・設備への給水作業標準化
	千葉	515,902	584,468	×	・機器ごとの流量計設置、巡回による漏れ箇所早期発見、修繕対応実施 ・製造数増加により使用量増加し未達	・流量計データ分析によるムダ調査 ・設備ごとの給水量ルール化
	福島	301,972	291,447	○	・機器ごとの流量計設置、使用状況を製造エリアで見える化し管理する事で達成	・流量計データ分析によるムダ調査
	名古屋	346,652	341,934	○	・機器ごとの流量計データ分析、増加機器に対する調査と節水対応により達成	・データ分析標準化し分析頻度を高める ・使用状況の見える化
	本社	770	675	○	・給湯室での表示による注意喚起	・給湯室での表示による注意喚起
化学物質の適正管理	神奈川				・在庫管理徹底 ・リスクアセスメント(クリエートシンプル)作成集合教育実施	・クリエートシンプル作成内容の見直しと対策実施
	湘南				・在庫管理徹底 ・リスクアセスメント(クリエートシンプル)作成集合教育実施	・クリエートシンプル作成内容の見直しと対策実施
	千葉				・在庫管理徹底 ・リスクアセスメント(クリエートシンプル)作成集合教育実施	・クリエートシンプル作成内容の見直しと対策実施
	福島				・在庫管理徹底 ・リスクアセスメント(クリエートシンプル)作成集合教育実施	・クリエートシンプル作成内容の見直しと対策実施
	名古屋				・在庫管理徹底 ・リスクアセスメント(クリエートシンプル)作成集合教育実施	・クリエートシンプル作成内容の見直しと対策実施
	本社				・保管薬品の見直し、不要なものの処分実施 ・リスクアセスメント(クリエートシンプル)作成集合教育実施	・在庫管理ルール構築

地域貢献活動	神奈川				・工場周辺ゴミ拾い	・工場周辺ゴミ拾い
	湘南				・工場周辺ゴミ拾い	・工場周辺ゴミ拾い
	千葉				・工場周辺ゴミ拾い	・工場周辺ゴミ拾い
	福島				・工場周辺ゴミ拾い	・工場周辺ゴミ拾い
	名古屋				・工場周辺ゴミ拾い ・地元神社への焼きそば協賛、参加	・工場周辺ゴミ拾い ・地元神社への焼きそば協賛、参加
	本社				・活動無し	・千代田区一斉清掃の日 参加

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（動植物性残さ、廃プラ、汚泥等）
食品リサイクル法	食品廃棄物
容器包装リサイクル法	容器包装
騒音規制法	空気圧縮機、送風機
振動規制法	空気圧縮機
水質汚濁防止法	煮湯設備、洗浄設備
下水道法	除害施設
浄化槽法	浄化槽
消防法（危険物）	危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機・冷凍庫・冷蔵庫
省エネ法	特定事業所

- ・環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
- ・食品リサイクル法の事業者ごとの基準実施率（80%）は達成しています。
- ・なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年8月29日

項目	変更・見直し	指示・補足等
環境方針	なし	
環境目標	なし	
実施体制等	なし	
総括	<p>(1) 全体評価 2020年よりエコアクション21への取り組みを行い、環境負荷抑制や社会の環境保全に全社一丸となって取り組み、「環境経営」の推進による企業価値向上が定着し始めて参りました。しかしながら環境経営課題に対して未達部分も多くあるため、全社員一丸となり目標達成に向けて更に取り組む1年と致します。</p> <p>(2) 個別評価 ・一般廃棄物、食品廃棄物の再生利用率向上については目標値をクリアすることが出来、引き続き高い目標をクリア出来るよう進めてまいります。 ・電力、ガス、廃プラ、食品残渣、水に関しては未達となり、各拠点ごとに外部環境要因など含めて課題が浮き彫りになりました。今後はより各拠点ごとの目標設定達成に向けて細分化した管理を行い、目標達成に向けて取り組みます。 ●今後も引き続き、【エコアクション21】の取り組みを通して、環境経営計画を全従業員に周知徹底を進め、環境負荷改善活動を実施して参ります。</p>	